

ある。龍の模様を刻出した牌は記録の上には存しないし、圓牌とはいへ、海青牌ならば前に見たやうに海青を刻出したものに相違ないから、それに當るとは考へられない。また上に八思巴字の刻せられてあることから考へると、その時代は勿論至元六年以後のものであること疑ない。或はこれが至元十六年頃から行はれた所謂新圓牌ではあるまいか。

更にこれについての詳細な研究は、親しく實物について、その模様を始めすべての點を調べた後に譲つて置きたい。さきに柯劭忞博士所藏の圓牌といふのを、余の所謂海青牌ではなからうかと疑つたが^(註¹⁷)参照)その牌面にたゞ八思巴字を記してあるだけならば、或はこの圓牌と同様であるかも知れない。

(昭和五年七月二十九日補記)